

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名：人間科学部・人間科学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 学部の改組に伴って積極的なカリキュラム再編も推進し、大学院授業への基礎科目の新設、アクティブラーニングの導入、さらに社会貢献活動に学生を取り込み単位化するなど、着実に教育改革を推進していることが評価できる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 大学と市民の双方向の社会貢献を実現するために部局内に「未来共創センター」を設置し、同センターが拠点となり、さまざまな社会貢献活動を実施・充実させていることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 WEB サイト内に、高校生(受験生)向けのコンテンツを追加したり、外部組織との連携により大学案内の発送システムを構築するなど、ターゲットを意識した広報を実施していることが評価できる。 また、部局として積極的に女性教員比率の向上に努めている点も評価できる。